

共創まちづくりシンポジウム2025開催報告(共創まちづくり研究推進事業)

〔概要〕 本学が名古屋市の協力・連携のもと進めている「共創まちづくり研究推進事業」の一環として、6月3日(火)にナディアパーク3階デザインホールで「共創まちづくりシンポジウム2025」を開催しました。名古屋市中田副市長及び本学の郡理事長による開会挨拶、動画によるなごや先端研究開発センターの紹介に続き、講演、パネルディスカッションを行ったほか、50の研究課題に関するポスター展示を行いました。当日は、本学の教職員・学生、名古屋市職員、市民の方など、定員を超える254名の方にご参加いただきました。なお、シンポジウム当日の様子をまとめたダイジェスト動画を後日公開予定です。



講演

前半では、「共創まちづくり研究推進事業」に採択されている研究代表者の中から、4名の先生方にご講演いただきました。



- ① 公園のチカラ
～まちを涼しく、心地よくする緑の役割と知っておきたいこと～
..... データサイエンス研究科 辰己 賢一 教授
- ② 名古屋市子ども・子育て政策のあゆみ
～オーラルヒストリーから見てきたこと～
..... 人間文化研究科 松村 智史 准教授
- ③ インクルーシブな防災支援の確立を目指して
～防災意識尺度の多言語化～
..... 看護学研究科 秋山 直美 准教授
- ④ 未来の子どもの健康と子育て環境の向上をめざして
～地域との連携による調査研究の推進～
..... 医学研究科 上島 通浩 教授

パネルディスカッション

後半では、データサイエンス研究科の横山清子教授をファシリテーターとして、名古屋市の健康福祉局、子ども青少年局、環境局の職員と、本学研究者(医学研究科、人間文化研究科、理学研究科)の合計6名が参加するパネルディスカッションを行いました。「社会課題解決への挑戦：データ活用型研究」というテーマで行われたこのパネルディスカッションでは、行政と大学が連携した取り組みの成果と今後の発展性について、熱い議論が交わされました。パネルディスカッションの最後には、ファシリテーターの横山教授から「このパネルディスカッションは、本学としてこれまで以上に名古屋市との強固な学術連携を図り、市民の皆様の安寧な生活環境提供への貢献を進めてくという宣言の機会とさせていただきます」という発信がありました。



ファシリテーター：横山教授



6名の登壇者

ポスター展示

会場では、「共創まちづくり研究推進事業」に採択されている50の研究課題について、概要をまとめたポスターを展示しました。予定時刻をこえるまで研究者と参加者が交流し、参加者に研究内容の理解を深めていただきました。



参加者の感想(事後アンケートより)

- 課題が複雑化していく中データを分析していかに効率よく解決していけるかが重要であると感じました。上島先生がディスカッションでお話されていたようにデータを相互利用して研究を行っていけると今後の問題解決における協力もスムーズになり、より良いと思いました。(市民)
- 名古屋市立大学が名古屋市・地域のために密着し他ではできない市民・人類のために研究をしていることがよく分かりました。(市民)
- 今後、行政施策の推進にあたってはデータをはじめとしたエビデンスに基づいた政策の企画立案が重要になってくると思われるため、ぜひとも名市大の持つ知見・ノウハウを活用して協力関係を築くことによって名古屋のまちのさらなる発展・充実の一助になればと思います。(名古屋市職員)
- 各研究分野の専門の先生方からの提言は大変貴重な提言であり、全体のバランスを考えると行政の見方への助言となるものでした。ポスター展示では直接お話が聞ける貴重な機会となりました。(名古屋市職員)
- 学と官が顔を合わせられる本シンポジウムは、研究の先に市民がいることをより強く感じることで大変貴重な機会となりました。(市大関係者)

令和7年度中に、第2期の募集を開始予定！ 行政課題・地域課題の解決を目指し、名古屋市と連携して研究を進めてみませんか？

なごや先端研究開発センターの主な取り組み(研究支援事業)

Check!!

当センターでは**21の支援事業**を推進しております。(下記一部抜粋)
気になる事業があれば、ぜひお問い合わせください。

支援事業がたくさん。
ぜひ活用してください!

対象者	事業内容	問合せ先
教員	卓越研究グループ支援事業 卓越のかつ独創的な優れたアイデアで国際的な研究を推進するグループに対し、 <u>研究費(1,200万円/年)を3年度</u> にわたって支援します。	研究開発課 ncu-sentanrdc@sec.nagoya-cu.ac.jp
	研究代表者に対する人件費支援事業 新たに雇用する特任助教の人件費の7分の5を上限に支援します。	
	国際的な共同研究推進のための派遣・招へい支援プログラム 国際的な共同研究等を実施する教員等の海外派遣および海外大学等の研究者招へいに関して <u>上限100万円</u> を支援します。	国際課 ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
臨床研究を行う方	医師主導治験実施支援 市大病院主導の医師主導治験を実施する医師・歯科医師に対し、 <u>研究費(1億円/件)</u> を支援します。	医学研究推進課 senryaku@med.nagoya-cu.ac.jp
	臨床研究の実施奨励 臨床研究法上の臨床研究を新たに主導的に実施する場合、 <u>研究費(50万円/件)</u> や <u>論文投稿料(50万円/件)</u> を支援します。 また、それ以外の臨床研究を新たに主導的に実施する場合、 <u>研究費(15万円/件)</u> を支援します。	
	附属病院群の特色ある取組み支援 各病院(市大病院を除く)の特色ある取組の実施にかかる経費(<u>最大1,000万円/件</u>)を支援します。	
大学院生、ポスドク、研究医等	なごや共創研究基金奨学金 博士学位の取得をめざす大学院生に給付型奨学金を <u>半期あたり25万円(1年度あたり最大50万円)</u> 支援します。	学生課 scholarship@sec.nagoya-cu.ac.jp
	メディカルスタッフである大学院生への補助制度 メディカルスタッフである大学院生に対し、 <u>授業料補助(50万円)</u> を支援します	管理課 ikusei01@sec.nagoya-cu.ac.jp

公募要項等をよくご確認願います。また、予算状況により内容が変更になる場合がございます。

その他、出産、育児、介護等により研究時間の限られた研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、研究補助や事務補助を行う研究支援員を配置する事業などがあります。

研究力強化に向けた取り組み 「若手研究者オープンアクセス論文投稿奨励制度」事業

[概要]

40歳未満の研究者の論文投稿(オープンアクセスに限る)へ
10万円の研究費を支援します。

対象者 40歳未満の教員、研究員、臨床研究医であり筆頭著者または責任著者

- ・本事業は、令和11年度まで継続して実施する見込みです。
- ・詳細な申請方法等は本学イントラをご覧ください。 研究・産学官>各種研究費>若手研究者オープンアクセス論文投稿奨励制度

論文の オープンアクセス化について

国の方針では、公的資金による研究成果は広く国民に還元すべきとされており、査読付きの学術雑誌等に掲載された論文を誰でもインターネットから時間や場所の制約なく無料でアクセスし入手できるようにすることをいいます。

Check!!

公募状況

対象者	事業内容	募集期間	掲載
教員	国際的な共同研究推進のための派遣・招へい支援プログラム 国際的な共同研究等を実施する教員等の海外派遣および海外大学等の研究者招へいに関して <u>上限100万円</u> を支援します。	R7年度追加募集: 7月~9月末	イントラ>研究・産学官連携>各種研究費
臨床研究を行う方	臨床研究の実施奨励 臨床研究法上の臨床研究を新たに主導的に実施する場合、 <u>研究費(50万円/件)</u> や <u>論文投稿料(50万円/件)</u> を支援します。	随時	市大病院HP ホーム>診療科・中央部門紹介>中央部門>臨床研究戦略部
大学院生、ポスドク	研究者の海外での国際学会発表等の経済的支援 大学院生等が海外で開催される学会に参加し発表を行う場合や、研究指導を受ける場合等にその渡航費用を支援する。	R7年度第3次:8月	大学HP>国際交流・留学>在学生の方へ>国際学会発表等支援事業

公募要項等をよくご確認願います。